

第4節

内陸エリア

白石市・角田市・登米市・栗原市・大崎市・富谷市・蔵王町・七ヶ宿町・大河原町・村田町・柴田町・川崎町・丸森町・大和町・大郷町・大衡村・色麻町・加美町・涌谷町・美里町

地域の状況に応じた避難訓練及び地域防災計画の改定

内陸エリアの除染処置については、平成29年3月までに全て完了していますが、白石市、角田市、栗原市、七ヶ宿町、大河原町、丸森町に整備された除染土等の仮置き場では、空間線量を計測する等、適正な管理が続けられています。

道路改築事業では、県沿岸部に位置する仙台空港や仙台東部道路と、内陸部を縦貫する東北自動車道等とを結び、県南地域の広域連携を強化する幹線道路である主要地方道岩沼蔵王線の岩沼市と村田町をつなぐ「志賀姥ヶ懐トンネル」が令和元年12月に完成しました。トンネルにより結ばれる区間は、これまでは屈曲カーブが多く狭隘な峠道で、大雨では通行

止めとなっていました。今回の供用により、沿岸部と内陸部を結び信頼性の高い東西交通軸が形成され、産業振興、観光交流の活性化、また救急医療活動への支援が図られ、東日本大震災からの震災復興にも寄与するものと期待されています。

地域の状況に応じた様々な訓練が実施されるとともに、災害対策基本法の一部改正や防災基本計画の修正等が行われたことを踏まえ、地域防災計画の改定も行われました。登米市では、国の防災基本計画・原子力災害対策指針、県の地域防災計画等の修正内容を踏まえ、平成31年3月18日に開催した登米市防災会議において、震災対策編・風水害等災害対策編・

原子力災害対策編から構成されている登米市地域防災計画の一部を修正しました。大崎市では、令和3年3月に避難所の運営・管理において感染症対策に関する記載を追加する等、地域防災計画を改訂しました。丸森町では、令和元年東日本台風の災害対応における教訓や課題を踏まえ、自主防災組織や住民を対象としたワークショップの開催、災害検証委員会の設置などを経て最終案を固め、令和3年6月に丸森町地域防災計画の風水害等災害対策編を改訂する予定です。

内陸エリアの人口・世帯数の推移

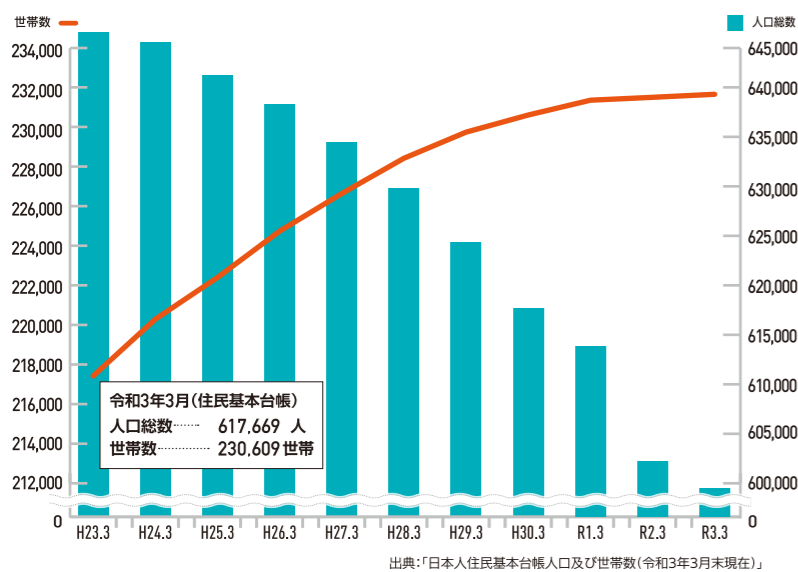


写真:住民参加ワークショップ(丸森町)



写真:住民参加ワークショップ(丸森町)



写真:避難所の様子(柴田町)

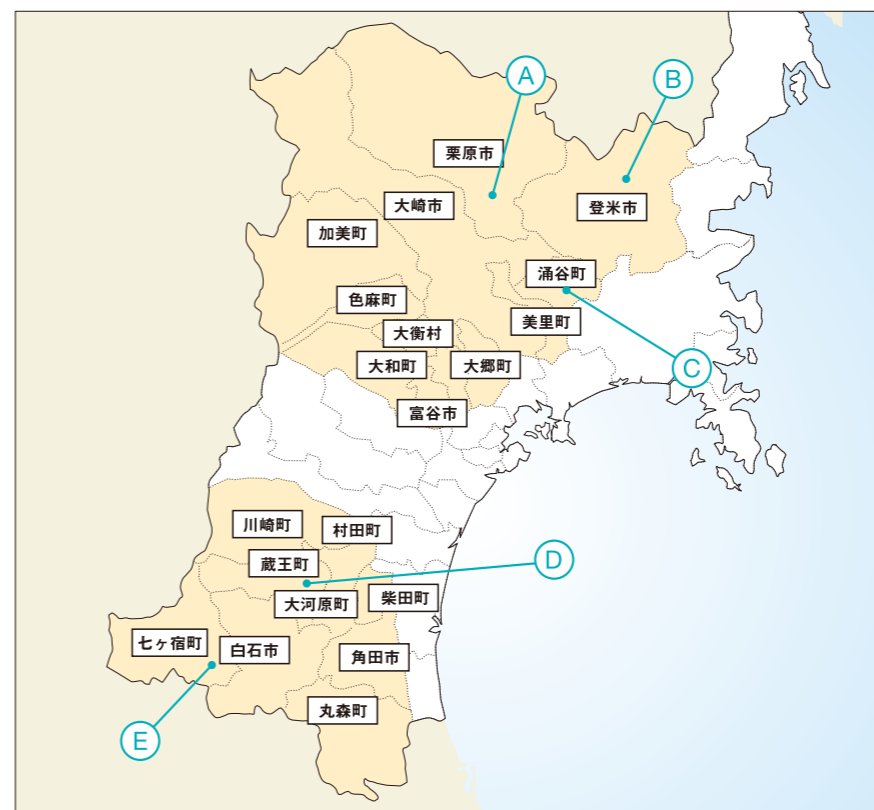


写真:倒壊した家屋(柴田町)



写真:東日本台風災害検証委員会による提言書提出(丸森町)

被災の状況



A 栗原市高清水地区



最大震度7を観測した栗原市では、高清水総合支所などの役場庁舎も損壊等の被害を受けました。

B 登米市東和地区



地震により、東和総合運動公園では、野球場やテニスコート場の法面崩壊が起きるなどの被害が発生しました。

C 涌谷町涌谷地区



震災後、上水道の供給が停止したため、給水車による給水が行われ、多くの被災者が行列をつくりました。

D 蔵王町円田地区



震動による液状化で、マンホールが地上に大きく突き出す被害が、各地で発生しました。

E 七ヶ宿町



地震により、県道南蔵王七ヶ宿線で法面が崩落するなど、大きな道路被害が発生しました。

● 人的被害 (令和3年3月31日現在)

死者	33人	県全体の約0.3%	行方不明者	5人	県全体の約0.4%
----	-----	-----------	-------	----	-----------

● 住宅被害 (令和3年3月31日現在)

全壊	1,346戸	県全体の約2%	半壊	8,502戸	県全体の約5%
----	--------	---------	----	--------	---------

● 避難状況 (県全体ピーク時)

避難所	377か所	県全体の約28% (平成23年3月15日 午前11時)	避難者	24,205人	県全体の約8% (平成23年3月14日 午後6時)
-----	-------	--------------------------------	-----	---------	------------------------------

● 応急仮設住宅入居者 (令和2年12月31日現在)

プレハブ住宅	0人	県全体の0%	民間賃貸借上住宅	0人	県全体の0%
--------	----	--------	----------	----	--------

※応急仮設住宅の供与は終了しました。